

業務執行報告

(平成 26 年 6 月 25 日から平成 26 年 9 月 30 日まで)

一般財団法人 全国緊急災害時動物救援本部

業務執行理事

東日本大震災によって被災した飼い主及びペットに関する救援事業、将来に向けた緊急災害時における動物救援に関する事業、一般財団法人全国緊急災害時動物救援本部の組織体制の拡充、の3事業を中心に、次のとおり業務を実施しましたので報告します。

1 東日本大震災によって被災した飼い主及びペットに関する救援事業

(1) 三春シェルター保護収容動物支援事業

福島県動物救護本部からの要請文書を受けて、三春シェルターにおいて保護収容されている犬及び猫の引き取り先探し等を具体的実施するための連絡調整を、福島県動物救護本部と実施しました。

(2) 仮設住宅等巡回ペットケア事業

6月18日～19日に2か所の仮設住宅で試験的に行った本事業の結果を踏まえて、一般社団法人日本ペットサロン協会の役員との会議を数回にわたり開催し、本事業の具体的な実施方法に関する準備作業を実施しました。また、併せて、飼い主及びペットの各種ケア事業の対象となる仮設住宅や被災飼い主の場所・数・ケア内容等を客観的・定量的に把握するための調査に着手し、10月からの本格的事業実施に向け、9月24日～25日に被災3県の関係者等への説明会を開催、及び9月25日～26日に仮設住宅でケア事業を試行しました(注：応急仮設住宅数は3県で約6万戸)。

(3) 帰還困難区域環境管理事業

関係行政機関に対して、帰還困難区域における環境管理事業の実施に関する申し入れを実施しました。また、移動診療車の設計の検討に向けた有識者等からなる検討会の開催準備に着手しました。

(4) 迷子ペット捜索事業

迷子になったペットの捜索を入念的に行うため、関係者の意見を聞きながら合理的かつ実効性のあるシステムの構築を検討し、迷子になったペットの情報及び保護収容した所有者不明のペットの情報などを掲載できる掲示板としてのシステムを作成するとともにその運用を試験的に開始しました。また、本システムの活用を飼い主及び引取り先等に対して呼びかけるためのポスターやチラシ等を作成しました。

(5) 現地救援本部支援事業

岩手県・宮城県・福島県における現地の動物救援本部(解散している場合はその構成団体)に対して、支援が必要な事態の残存状況に関する意向調査を行い、岩手県、宮城県においては既に支援は必要ではない状況であることを確認しました(迷子ペット捜索及び巡回ペットケアを除く)。

2 緊急災害時動物救援事前対策事業

平成26年9月23日に環境省や東京都と一緒に上野公園で開催する動物愛護週間中央行事や10月4日に都立駒沢オリンピック公園で開催する動物感謝デーにおいて同行避難等の普及啓発事業を実施するための、パネルやリーフレットを作成し、貸出等を開始しました。また、救護活動マニュアルの策定作業に着手しました。さらにセミナーの開催、出張講師の派遣事業の実施、全国各地における救護チームの編成、調査研究助成事業の実施の検討を開始しました。また、静岡県及び東京都の2か所に救護資材の備蓄拠点を設定していま

すが、保管されている救護資材の整理作業に着手するとともに、拠点拡大に向けた準備に着手しました。

3 組織体制拡充事業（一般財団法人全国緊急災害時救援本部の組織体制の拡充）

法人格を持った財団として適切に業務を遂行できるようにするため、事務局の体制整備を図るとともに、公益財団法人の認定に向けた申請を8月28日に内閣府に対して行いました。また、賛助会員の募集及び新たな寄附金の募集を開始するためのシステムやリーフレット等を作成しました。また、必要に応じたホームページの更新作業を行いました。

4 その他本財団の目的を達成するために行った事業

1) 関係団体との情報交換等の実施

岩手、宮城、福島県の救護本部（またはその構成団体）との連絡調整を行いました。また、幅広い情報の収集を図るために、関係団体との情報交換や意見交換を行いました。

2) 規程等の整備

規程の新設と変更を次のとおり行いました。

区分	規程名	会議名	議決日
新規	役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規程(定款第17条第3項、定款第19条第1項第2号、定款第33条、定款第36条第8項)、 旅費規程(定款第17条第3項、定款第19条第1項第2号、定款第33条、定款第36条第8項) 評議員会運営規程(定款第26条) 事業計画書及び収支予算書、資金調達及び設備投資の見込み(定款第10条) 寄付金等取扱規程(定款第6条) 資産の管理及び運用に関する規程(定款第8条) 理事の職務及び権限規程(定款第29条) 理事会運営規程(定款第46条) 事務局規程(定款第51条) 就業規則(定款第51条) 職員給与規程(定款第51条) 会計処理規程(定款第51条) 稟議規程(定款第51条) 情報公開規程(定款第52条、	第1回評議員会及び理事会	平成26年6月25日

	56条) 賛助会員規程（定款第53条） 個人情報保護規程（定款第57条） プライバシーポリシー 監事及び監査の実施規程（定款第30条）		
変更	定款	第2回評議員会	平成26年8月15日
新規	研修会等実施規程 調査研究実施規程 災害時における物資及び活動資金の支援規程	第2回理事会	平成26年8月15日
変更	会計処理規定（定款第51条）	第2回理事会	平成26年8月15日

3) 外部会議

本協会の業務執行理事及び職員等が参加した外部会議は次のとおりです。

一般社団法人日本ペットサロン協会理事会

4) 各種行事への後援等

主催	開催時期	開催地	内容
ICAC KOBE 2014 事務局(公益社団法人Knot)	平成26年7月19日～20日	兵庫県神戸市	動物福祉等に関する講演、シンポジウム

5) 各種普及啓発・広報資料

本財団の案内リーフレット（A4版両面カラー三つ折り）、寄附金募集・入会案内リーフレット（A4版両面カラー）、災害時の救援活動に関する普及啓発用パネル（各A1版13種類）、防災・同行避難の普及啓発パンフレット（A3版両面カラー二つ折り）を作成しました。また、活動内容を広く周知するため「救援本部だより 第1号」を作成し、関係機関等へ送付するとともにホームページ上に掲載しました。

また、「ペットと防災…災害に備えて」に関する読売新聞の取材を受け、9月26日から4回シリーズで記事が掲載されました。

パネル貸出状況

貸出先	パネル内容	使用目的
宮崎県福祉保健部	防災対策、同行避難、写真パネル（7枚） 東日本大震災関係写真パネル（31枚）	10月25日 宮崎フェスタ2014
都獣医師会南多摩支部	防災対策、同行避難、写真パネル（7枚）	11月1日 日野市防災訓練等
東京都家庭動物愛護協会	防災対策、同行避難、写真パネル（7枚）	11月2日 動物愛護イベント
松戸市獣医師会	防災対策、同行避難、写真パネル（7枚）	11月8日 松戸市防災訓練

6) 事務所の什器備品類

本財団の事務局に必要な什器備品類の整備を行いました。

5 役員・会議・委員会等

1) 役員等（平成26年9月末日現在）

①役員

役員 (常勤1 非常勤8)	代表理事 (非常勤1)	会長	東海林克彦
	業務執行理 事(常勤1、 非常勤4)	副会長	矢ヶ崎忠夫
		常務理事	四宮勝之、内山晶、岡崎留美、沼田一三
	理事(非常勤5)	小林元郎、浅野明子、柳原伸明、越村義雄、 田中健司	
	監事(非常勤2)	赤尾壽允、沼田道孝	
会長(0)			—
副会長(0)			—
顧問(0)			—
参与(0)			—

2) 役員会等の開催

<評議員会、理事会、監事会議、業務執行理事会>

会議名		開催日	審議事項
①評議員会	第1回	平成26年6月25日	一般財団法人の設立について、諸規程の制定について
	第2回	平成26年8月15日	公益認定申請について、定款の一部変更について、理事の選任について
②理事会	第1回	平成26年6月25日	一般財団法人の設立について、諸規程の制定について、役職理事について、事務局長の任命の承認について、事業計画及び収支予算等について、寄附金の募集開始について、公益認定申請について
	第2回	平成26年8月15日	公益認定申請について、諸規程の制定について、業務執行報告について
③業務執行理事会	第1回	平成26年7月13日～21日(メール会議)	公益認定申請について、諸規程の制定について、業務執行報告について
	第2回	平成26年9月8日	答弁書について、公益認定申請について、事業の実施状況について
④監事会議	第1回	平成26年6月25日	監事及び監査の実施に関する規程の制定について、平成26年度の監査計画の策定について

※この他に、中間監査及び第4回理事会を開催するための調整や準備等を実施しました。

3) 各種委員会の開催

委員会名	回数	審議事項
—		

6 連携団体の数

※現在、規程の作成を含めて、認定に向けた諸準備を進めているところです。

特定連携団体	—
連携団体	—

7 賛助会員の状況（平成26年9月末日現在）

団体特別賛助会員	—
団体賛助会員	—
個人賛助会員	2名

8 職員の状況

常勤役職員の状況は、次のとおりです。

区分	設立時	増加	減少	7月末
役員	1	1	0	1
職員	0(1)※	0	0	0(1)※
計	1	0	0	1

※事務局長（職員）を兼務する常務理事が1名